



会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会

発行責任者 横地常広

編集責任者 深澤恵治

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号

TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722

ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

P1 厚生労働省「こども霞が関見学デー」が今年も開催されました！

P2～P3 訃報 ～故 芹澤昭彦理事を偲んで～

P4 日本臨床検査学教育協議会と災害協定を締結—災害協定締結を通じた今後の連携強化—

P5 大規模災害時の支援人材育成講習会その1、その2オンデマンド配信中！/

「血糖変動を見るタスク・シフト/シェアで広げる糖尿病療養支援」オンデマンド配信中！

厚生労働省「こども霞が関見学デー」が今年も開催されました！

～ 子どもたちの未来のために、社会を広く知るための各府庁の施策と親子体験活動 ～

8月6日（水）、7日（木）に厚生労働省において、「こども霞が関見学デー」が開催されました。「こども霞が関見学デー」は、霞が関に所在する厚生労働省をはじめ、文部科学省や内閣府など29府省庁等が連携し、所管の業務説明や関連業務の展示等を行うことにより、毎年夏休み期間中に子どもたちに広く社会を知ってもらうこと、政府の施策に対する理解を深めてもらうことを目的とした取り組みです。

臨床検査については、日本臨床検査振興協議会の広報委員会が中心となり「うんちやおしっこ・血液を検査するとなにがわかるかな？～白衣を着て臨床検査を体験しよう!!～」をテーマに自由参加型の体験型イベントを実施しました。日本臨床検査振興協議会の会員団体である日本臨床検査医学会、日本臨床検査専門医会、日本臨床検査薬協会、日本衛生検査所協会と連携し、「白衣を着て記念撮影」「血液検査（血液細胞の働きや動画の説明）コーナー」「おしっこ検査（尿糖）コーナー」「うんち検査（便潜血）コーナー」「新型コロナ検査コーナー」「SMBG検査コーナー」を

子どもたちに体験していただきました。2日間で700名以上の多くの家族連れでにぎわい、子どもたちは目を輝かせながら実際の検査を行っていました。厚生労働省の伊原事務次官も当ブースに立ち寄っていただき「臨床検査は大変盛況ですね」とお言葉をいただきました。

「こども霞が関見学デー」は、平成27年から参画し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し中断した時期はありましたが、10年間行ってきました。今年も近隣の都県（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県）の協力を得て、子どもたちや親御さんに臨床検査について理解を深めていただけたのではないかと思います。

将来臨床検査技師になった人が、子どものころ「こども霞が関見学デー」を体験したことがあったと言っているように、これからも職能団体として広報活動に努め、臨床検査の必要性、重要性そして楽しさを伝えていければと考えています。

（常務理事 益田 泰蔵）

～ ご協力・ご参加いただいた皆様ありがとうございました ～



多くの子どもたちが熱心に検査体験をしてくださいました。また、保護者の皆様も興味をもって検査体験の様子を見守っていました。



横地会長（写真中央）も現地を訪れ、臨床検査コーナーの盛況ぶりに目を細めていました。

訃 報

当会理事 芹澤昭彦氏(享年54歳)が、令和7年7月25日にご逝去されました。
会員各位にお知らせいたしますと共に、ここに謹んでお悔やみ申し上げます。



故 芹澤昭彦理事を偲んで

芹澤理事と親交のあった役員からの追悼のメッセージを掲載いたします。

この度、当会 理事である芹澤昭彦先生がご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。芹澤先生は日臨技首都圏支部支部長ならびに一般社団法人神奈川県臨床検査技師会会長でもあり、技師会の発展長きに渡り尽力されてこられ、その功績に深く感謝申し上げます。

私と芹澤先生とは専門分野が同じ病理細胞診分野のため委員会をご一緒することも多く、適切なご意見や臨機応変の対応にいつも助けていただいております。豊富な知識と経験に驕ることなく、いつも謙虚な人柄は仲間から信頼されておりました。多岐にわたる日臨技の理事としての会務に携わりながら、神奈川県技師会ならびに首都圏臨床検査技師会のトップとして組織をまとめ、その姿は後進の育成にも大きく寄与されました。重ねて感謝申し上げます。

また、芹澤先生は日臨技の代表として日本病理精度保証機構の委員をお勤めいただき、芹澤先生が得意とされる免疫染色のご講演や標本評価に関わっていただいております。分子病理学的知識を常にUP DATEされ、ご講演はわかりやすく、且つ現場の経験も入るので特に現場の技師にとっては大変有用であり、聴講者からの評価は高く、関連団体の先生方からも信頼されておりました。芹澤先生の発信された学術的な知識もまた、若手臨床検査技師に引き継がれていくと思います。

芹澤先生とはまだ若手と呼ばれる頃から病理細胞診関連の研修会や学会でご一緒する機会も多く、長いお付き合いのなか、いつのまにか気の合う友人の一人となっておりました。友人となってもいつも礼儀正しく、思いやりも忘れない方でした。個人的には、2019年に国際細胞学会に参加するために仲間達と共にツアーを組みシドニーに行った時が、一緒に行った最後の遠出となりました。次回も一緒に行きたいねと話したのですが、実現できませんでした。毎晩一緒にお酒を飲んだ楽しい時間が忘れられません。



2019年5月に撮影
シドニーにて

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

日臨技 専務理事 小松京子



この度、当会 首都圏支部支部長であり、一般社団法人神奈川県臨床検査技師会会長でもある芹澤昭彦先生がご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

芹澤先生は長年にわたり、技師会の発展と地域医療の向上のために尽力され、多くの功績を残されました。とりわけ、ご自身の専門分野である病理検査および細胞診検査においては、常に新しい知見や技術を取り入れ、検査精度の向上と後進の技術習得に情熱を注がれました。

病理検査および細胞診検査という、患者様の診断や治療方針の決定に直結する重要な分野で、芹澤先生は確かな技術と深い見識をもって取り組まれ、病理検査における精度管理の徹底や業務改善の推進はもちろん、若手技師への直接的な指導や相談にも力を尽くされ、その熱意は多くの方に刺激と学びを与えました。とりわけ免疫染色における精度管理においては全国的な取り組みをなされており、その功績は大きいものがあります。

芹澤先生は、首都圏支部の支部長として私は副支部長として、綿引学術部長と共にこの3都県が所属する首都圏支部をまとめ上げて活動してまいりました。人を思いやる心に満ちた芹澤先生は、会議や行事の場では、常に冷静で的確な判断を示されながらも、時には柔らかな笑顔や冗談で場を和ませ、緊張をほぐしてくださいました。こうした場面は、芹澤先生の人間的な魅力を感じさせ、多くの方々に親しまれております。

また、私は東京都で、そして芹澤先生は神奈川県で、それぞれ会長として活動してまいりました。地域も組織も異なる立場ではありましたが、互いに抱える課題や目指す方向には多くの共通点があり、しばしば意見を交わし、情報を共有し、励まし合ってきました。場所は違えど、同じ責任と使命を担う者として、芹澤先生は常に私の良き相談相手であり、同志でありました。その冷静な判断力と柔軟な発想に、幾度となく助けられたことを思い出します。

特筆すべきは、その責任感と献身的なお人柄です。先に行われた臨地実習指導者講習会では惜しめない支援を続けてくださいました。すでに闘病中で体調が優れないにもかかわらず、講習会責任者として最後まで支えてくださったことを決して忘れることはできません。事前準備から当日の進行、細部の確認に至るまで、自ら動き、的確な助言をくださり、表には見えない多くの労を担ってくださいました。その姿には深く感銘を受け、今もなお胸に刻まれています。

今後も芹澤先生の志を胸に、首都圏支部のさらなる発展と会員への貢献を目指し、努力を続けてまいります。改めて、芹澤先生の長年のご尽力と温かなご厚情に心より感謝申し上げますとともに、安らかなご永眠をお祈りいたします。

日臨技 執行理事 原田典明

長年の友人であり、臨床検査技師の仲間として共に学んできた芹澤さんの訃報に接し、深い悲しみに包まれております。

芹澤さんとは30年来のお付き合いとなります。学会や講習会では同じ志を持つ仲間として意見を交わし、お互いを尊重し高め合ってきました。常に真摯に会務に臨まれ、後進の育成や業界の発展に尽力されていた姿は、今も強く心に残っています。その姿勢は後進の方々にしっかりと受け継がれています。安心してください。仕事を離れれば、共にウイスキーを嗜みながら、他愛もない話で笑い合った時間を思い出します。8月31日、茶毘に付された日の空は穏やかに雲が流れる透きとおった青空でした。

出会えたことに感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

日臨技 理事 根本誠一

日本臨床検査学教育協議会と災害協定を締結 —災害協定締結を通じた今後の連携強化—

この度、日臨技貢献賞（団体）※を受賞された、日本臨床検査学教育協議会（日臨教）の皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。

令和6年能登半島地震においては、被災地での検査支援体制の確保に多くの困難が伴うなか、日臨教加盟校の教員の皆さまが臨床検査技師として自ら支援の現場に赴かれ、災害拠点病院における医療支援活動に大きく貢献いただきました。教育機関としての立場を超え、臨床検査の専門職として行動された姿勢は、まさに本会の理念と深く響き合うものでありました。

また、今回の支援を契機として、日臨教と日臨技の間で災害支援協定を締結できたことは、将来の大規模災害に備えるうえでも非常に意義深い一歩と考えております。今後はより一層の連携体制の強化を図り、教育と実践が一体となった災害医療支援を実現してまいります。

引き続き、臨床検査技師の専門性が災害支援の現場でも発揮されるよう、全国の関係団体の皆さまと協力しながら取り組んでまいります。



日臨技貢献賞 表彰式にて
写真左：当会 横地会長
写真右：日臨教 坂本理事長

執行理事（災害対策担当）直田 健太郎

※日臨技貢献賞については前号（会報JAMT Vol.31No.16）をご覧ください。

能登半島地震支援で日臨技貢献賞(団体)を受賞

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 坂本 秀生

日臨技貢献賞(団体)として、「令和6年能登半島地震」の被災地支援で日臨技を通じた臨床検査 技師ボランティア派遣に関わった点を評価していただき、大変にありがとうございます。

日本臨床検査学教育協議会(日臨教)では2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震にて被災地の日臨教加盟校へ義援金、被災学生へ奨学金等で被災者支援をいたしました。教員へボランティア派遣の呼びかけは行なっておりませんでした。能登半島地震では会員校の被災状況調査、被災学生へ奨学金の支援準備を始めた頃、日臨技を含め臨床検査に関わる5団体で構成する臨床検査振興協議会の支援活動が開始されました。やがて日臨技が被災地へ臨床検査技師ボランティア募集をなさることを知り、日臨教として正会員校へ臨床検査技師ボランティア募集を行いました。学校によっては1月末には授業を終えて定期試験に入る時期でもあり、直ちに複数校からボランティアの申し出をいただき、日臨技を介して被災地支援へ教員が向かうことができました。

被災地までの移動や被災地滞在に関する手配は、金

銭面も含めてボランティアの自前で行うことが基本です。しかし、日臨技を介した派遣では金銭面の負担、滞在先手配に加え、ボランティア保険もかけていただけ、安心して支援へ向かうことができました。このことがきっかけとなり、日臨技と災害支援協定を結ばせていただきましたので、今後は日臨教からも支援員派遣を迅速に対応しやすくなりました。

この場を借りて日臨教について少し紹介させていただきます。日臨教の発足は1959年まで遡り、厚生省公衆衛生局企画課招集 全国衛生検査技師学校(養成所)連絡会として産声を上げ、65年以上の歴史がございます。全国全ての臨床検査技師学校養成所が加盟し、2025年4月時点で大学80校(国立21校、県立5校、私立54校)、短期大学3校、専門学校21校の合計104校で構成されております。2022年からの臨床検査技師卒前教育改正により、臨地実習へ重きが置かれました。臨地実習生をお受けくださっているご施設様にはご負担をおかけしており、この場を借りて臨地実習生へのご指導に、あらためて感謝を申し上げます。

臨床検査技師卒前教育を通し、臨床検査分野へ貢献してまいりますので、今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

大規模災害時の支援人材育成講習会 その1、その2オンデマンド配信中！

近年、震災や新興感染症の蔓延など、大規模な災害が頻発しています。こうした有事の際に、臨床検査技師が専門性を活かして支援活動に参加できる体制が必要となっています。本研修は、臨床検査技師の災害支援人材として活動できる知識習得を到達目標とし、大規模な災害発生時におけるマネジメントや情報収集、被災地外からの支援の在り方とともに、災害対策本部の運営に関する知識を学ぶことを目的に開催しています。

当会は職能団体としての社会的責任を果たすべく、大規模災害時に臨床検査技師が人的支援を行える体制の構築を目指しています。会員施設における臨床検査機能の維持、被災地の要請に応じて、J-MAT（日本医師会）や日本赤十字社などと連携し、震災や新興感染症の蔓延時に対策活動を実施しています。全国的に多くの臨床検査技師が支援活動に参加できるよう、人材育成が不可欠となります。

将来の大規模災害発生時には、本研修修了者に協力を呼びかける予定です。実際の対応可否は個々の状況によりますが、有事の際にはぜひご協力をご検討ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大規模災害時の支援人材育成講習会 その1の目的

- 災害対策本部で支援活動ができる臨床検査技師の育成
- 災害対応の原則・概念、情報管理、資源管理などの知識習得を到達目標とする

大規模災害時の支援人材育成講習会 その2の目的

- 災害支援人材として必要な知識の習得
- 大規模災害時のマネジメント、情報収集、被災地外からの支援のあり方
- 災害対策本部の運営に関する知識の習得

会 期：開催中（無期限）
申込 期 間：受付中（無期限）
受講 料：無料
点数 付 与：生涯教育研修制度 基礎教科 20 点
申込・受講方法：会員専用ページより①事前参加申込み
→ ②事前参加申込済一覧から受講



「血糖変動を見る タスク・シフトバリエーションで広げる糖尿病療養支援」オンデマンド配信中！

テーマ：タスク・シフトによる糖尿病支援の進化 ～臨床検査技師の役割と新たな挑戦～

臨床検査技師が糖尿病管理における検査結果の活用法や患者支援の実践的な手法を習得するために、タスク・シフトの概念に基づいて医師や看護師など多職種と連携する方法や、CGMを含めた実践的な支援内容を学ぶ研修会をオンデマンド形式で開催中です。会員専用ページから事前参加申込をして、是非、ご参加ください。

会 期：令和7年7月1日（火）から10月31日（金）
申込 期 間：令和7年6月1日（日）から10月30日（木）
受講 料：1,000円（クレジット決済のみ）
点数 付 与：生涯教育研修制度 基礎教科 20 点

（編集後記）猛暑が続く毎日、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

今月は、こども霞が関見学ツアーが開催されました。親子で臨床検査を体験した時間が未来への新たな一歩につながることを願っています。

突然の悲しいお知らせとなりますが、芹澤理事のご逝去を悼み、心より哀悼の意を表します。芹澤理事の優しいお声がけや、周囲への温かな気遣いの姿が今でも鮮明に思い出されます。芹澤理事、本当にありがとうございました。安らかに休息ください。そして、心からの感謝とお別れを申し上げます。（今川）